

被災地支援活動

「困難を乗り越えて新しい村づくりに取り組む」

日時:2013年12月8日(日)

会場:福島県双葉郡川内村

全村避難から復興を目指す 川内村でイベントに参加

主催:川内村商工会

協力:カミーユ、仙台国際ホテル、ホテルオークラ東京

参加シェフ:伊佐武二副会長、田中健一郎理事、中村善二理事、森下一博氏



1800個の焼き菓子を配布

川内村は、東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所事故により全村避難を余儀なくされた福島県双葉郡の村です。2012年1月の帰村宣言から約2年を経た現在、約半数の村民が帰村を果たし、除染、インフラの回復など課題が山積する中、新たな村づくりに取り組んでいます。

12月8日、日本エスコフィエ協会の伊佐副会長、田中理事、中村理事、森下氏が、川内村で開催された「かわうちドンドン村づくりイベント」に参加しました。ホテルオークラ東京、カミーユ、仙台国際ホテルに依頼し用意していただいた焼き菓子とジャム総数1800個を数個入りの袋詰めにして配布。イベントに集まったお子様からお年寄りまで多くの皆様に好評で、長蛇の列ができました。

地元の生産者と交流し食材を試食

地元で獲れた岩魚や、野菜工場生産されたレタス類などを試食し、生産者の方との交流もありました。

会場では、同名の縁で川内村を積極支援している市民ランナーの川内優輝選手によるトークショーやジョギング大会、海上自衛隊の歌姫として話題の三宅由佳莉さんによるコンサートなども開催され大変な盛り上がりでした。小雪の舞う中、新たな村づくりを目指す川内村の皆様と支援者の熱い想いがあふれ、心に残るイベントとなりました。



小雪の舞う広場で焼き菓子配布



地元の皆様にご挨拶



テント前には長蛇の列



川内 優輝選手・川内村商工会会長 井出 茂氏とともに



地元生産者と交流